

質疑・回答書

告示番号	第384号	件 名	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ及びとよなか国際交流センター空調設備改修工事
No	質疑事項	回 答	
1	No.AC-02 特記仕様書(1)の空気調和設備、配管材料より、ドレン管の材質はVPとなっておりますが、No.AC-11の凡例ではACドレンとなっております。平面図正とし、ドレン管はACドレンを使用するものと考えて宜しいでしょうか。	ドレン管は、ACドレン管を使用してください。	
2	No.AC-16,17 空調ダクト設備にて、消音器のリストがありますが、消音器の外装は垂鉛鉄板、吸音材はGWと考えて宜しいでしょうか。	消音器は、既設再使用となります。	
3	No.AC-11～14 空調設備図の注記にて、室内外間の連絡用配線EM-CEES1.25mm-2C及び室内機電源用配線EM-EEF2.0mm-3Cは本工事とし、冷媒管に共巻とする、との記載がありますが、No.AC-21 自動制御設備 計装図(2)の注記には電源供給工事は電気工事と記載あります。電源供給工事は電気工事と考えて宜しいでしょうか。	ビル用マルチエアコンの室内機の電源供給は、室外機側より冷媒管共巻で供給とし、本工事で施工を行います。また、店舗用エアコン、ルームエアコンの電源供給は、既設電源線を再使用とし、本工事で接続を行います。	
4	No.3の質疑に関して、電源供給工事が本工事の場合、ビル用マルチエアコンは室外機・室内機それぞれに電源を供給するため、冷媒管と電源線の共巻ができません。よってビル用マルチエアコンの室内機の電源の付替え工事が発生します。ビル用マルチエアコン室内機の電源供給工事は電気工事とし、店舗用エアコン、ルームエアコンの電源供給工事のみ本工事と考えて宜しいでしょうか。	ビル用マルチエアコンの室内機の電源供給は、室外機側より冷媒管共巻で供給とし、本工事で施工を行います。また、店舗用エアコン、ルームエアコンの電源供給は、既設電源線を再使用とし、本工事で接続を行います。	
5	No.3の質疑に関して、G-AHP-1 空冷ヒートポンプチラーおよびG-AHU 空気調和器の電源供給工事は電気工事として宜しいでしょうか。	G-AHP-1 空冷ヒートポンプチラーの電源供給工事は、別途電気工事で行います。G-AHU 空気調和器の電源供給は、既設電源線を再使用とし、本工事で接続を行います。	

6	No.AC-20,21 自動制御設備 計装図(1),(2)に関して、熱源となるG-AHP-1空冷ヒートポンプチラー周りの制御図がございません。詳細をご指示下さい。	G-AHP-1 空冷ヒートポンプチラーの制御はメーカー標準とし、既設中央監視盤において、状態監視(電源のオン、オフ、異常信号)を行います。状態監視の信号線は既設再使用とし、空冷ヒートポンプチラーの制御盤に接続してください。
7	No.AC-20 自動制御設備 計装図(1) 空調制御(1),(2)の注記にて 2.既設中央監視からの入出力に関する配線工事は流用とする、との記載がありますが、詳細が不明なので別途と考えて宜しいでしょうか。 同様に、パッケージエアコンの既設中央監視からの入出力に関する配線工事も別途と考えて宜しいでしょうか。	各種信号線は、既設信号線を再使用とし、本工事で接続を行います。
8	No.AC-06~08 空調換気設備 機器表(1)~(3)にて、空冷ヒートポンプチラーおよび空気調和器の搬入はエレベーター利用(分割搬入組立)とありますが、クレーン等による外部からの搬入は不可と考えて宜しいでしょうか。 また、パッケージエアコン室外機も同様にエレベーター搬入と考えて宜しいでしょうか。	計画では、近隣や住民等の安全の確保と、公共交通への影響を考慮し、エレベーターによる搬出入を想定しています。
9	質疑No.8に関して、屋上フロアまでEV搬入が可能と考えて宜しいでしょうか。	エレベーターによる搬入は7階の屋上広場まで可能です。 図面番号AC-55、AC-56のとおり、8階屋外機械置場には、7階の屋上広場の吹き抜け部と8階屋外機械置場に仮設足場と搬入架台を設置し、屋外機械置場の防音壁を超える高さまでチェーンブロックで吊り上げてから、搬出入することを想定しています。
10	AC-04 工事区分表にて床壁天井撤去補修の記載がありますが、天井解体エリアの詳細が不明です。 詳細を頂けないでしょうか。	天井解体は別途、建築工事で行います。解体範囲は空調配管の施工範囲を包括しています。